

各 位

会 社 名 日本ハム株式会社  
 代表者名 取締役社長 藤 井 良 清  
 (コード番号 2282 東証・大証第一部)  
 問合せ先 広報室長 西 原 耕 一  
 TEL: 06-6282-3031

## 日本ハムグループ 新中期経営計画に関するお知らせ

日本ハムグループは、2003年4月1日から2006年3月31日（第59期～61期）の3年間を、『新中期経営計画パートI』とし、事業計画を策定致しました。その概略についてお知らせ致します。

『新中期経営計画パートI』は、「**企業風土の刷新と経営改革の推進**」をテーマに掲げ、お客様の視点に立った透明性の高い経営を推進し、信頼回復を図って参ります。事業におきましては、積極的な新商品の開発により既存市場の成長拡大を図るとともに、成長事業分野に果敢に取り組み、事業拡大を図ってまいります。

これにより中経最終年度には、連結売上高1兆1000億円と税引前利益350億円達成に挑戦します。

### I 新中期経営計画パートI・数値目標

#### 1. 売上・利益目標

	2006.3 期	対 2003.3 期比	2003.3 期
売上高	11,000 億円	120.9%	9,099 億円
税引前利益	350 億円	263.2%	133 億円
ROA(税引前利益)	5%以上		2.1%

#### 2. 設備投資・減価償却

	今中経累計
設備投資	800 億円
減価償却	740 億円

#### 3. 有利子負債の削減

	2006. 3 期
有利子負債	400 億円
D/Eレシオ	0.6 倍

#### 【事業区分別(\*1)売り上げ目標】

	2006.3 期			2003.3 期	
	計画	構成比	対 2003.3 月期	実績	構成比
加工事業	3,620 億円	32.6%	115.2%	3,143 億円	34.3%
食肉事業	5,550 億円	49.9%	112.2%	4,947 億円	54.0%
関連事業(*2)	1,950 億円	17.5%	181.9%	1,072 億円	11.7%
売上合計(調整後)	11,000 億円	100.0%	120.9%	9,099 億円	100.0%

事業区分別売上高は、連結調整前純社外売上金額です。

(\*1) 2004年3月期（第59期）より、上記事業区分別にマネージメントアプローチによるオペレーティングセグメント情報として開示する予定です。

(\*2) 《関連事業》に含まれる事業は、水産事業、乳製品事業等です。

## II 経営方針

企業風土の刷新と経営改革の推進を図ります。

### 1. コンプライアンス経営の徹底

- 「日本ハムグループ行動規範」の徹底により、企業風土刷新の実現
- 企業の長期安定を図るグループリスクマネジメント体制の確立

### 2. お客様重視の経営

- グループを統括する品質保証部の強化と「OPEN品質」の推進
- 安全・安心で、透明性の高い開かれた食品作り

### 3. グループ経営の推進

- グループ全体最適の経営
- グループシナジーの最大化

## III 経営戦略

風通しの良いグループ経営体制を確保します。

### 1. コーポレートガバナンスの確立

- 経営監視と業務執行の明確化
  - ・ 執行役員制度の導入
- 意思決定機関の改革
  - ・ 取締役会の機能強化
  - ・ 経営戦略会議、投融资会議による審査機能強化
  - ・ 執行役員会議での情報共有化
- 組織改革と委員会設置
  - ・ 事業組織の変更
  - ・ ガバナンス機能を高めるための、各種委員会設置(コンプライアンス委員会、危機管理委員会、報酬制度委員会、海外戦略協議会)
  - ・ 管理部門の要員増による管理監査体制の強化

### 2. 経営資源の全体最適配分

- グループ資産の有効活用による財務体質の強化
- 有利子負債の圧縮と資金効率の向上
  - ・ グループ資金の集中管理により資金効率の向上と連結有利子負債の削減、金融収支の改善
- 事業の選択と集中
  - ・ コア事業の強化
  - ・ 第4・第5の柱となる事業の育成(水産・乳製品)

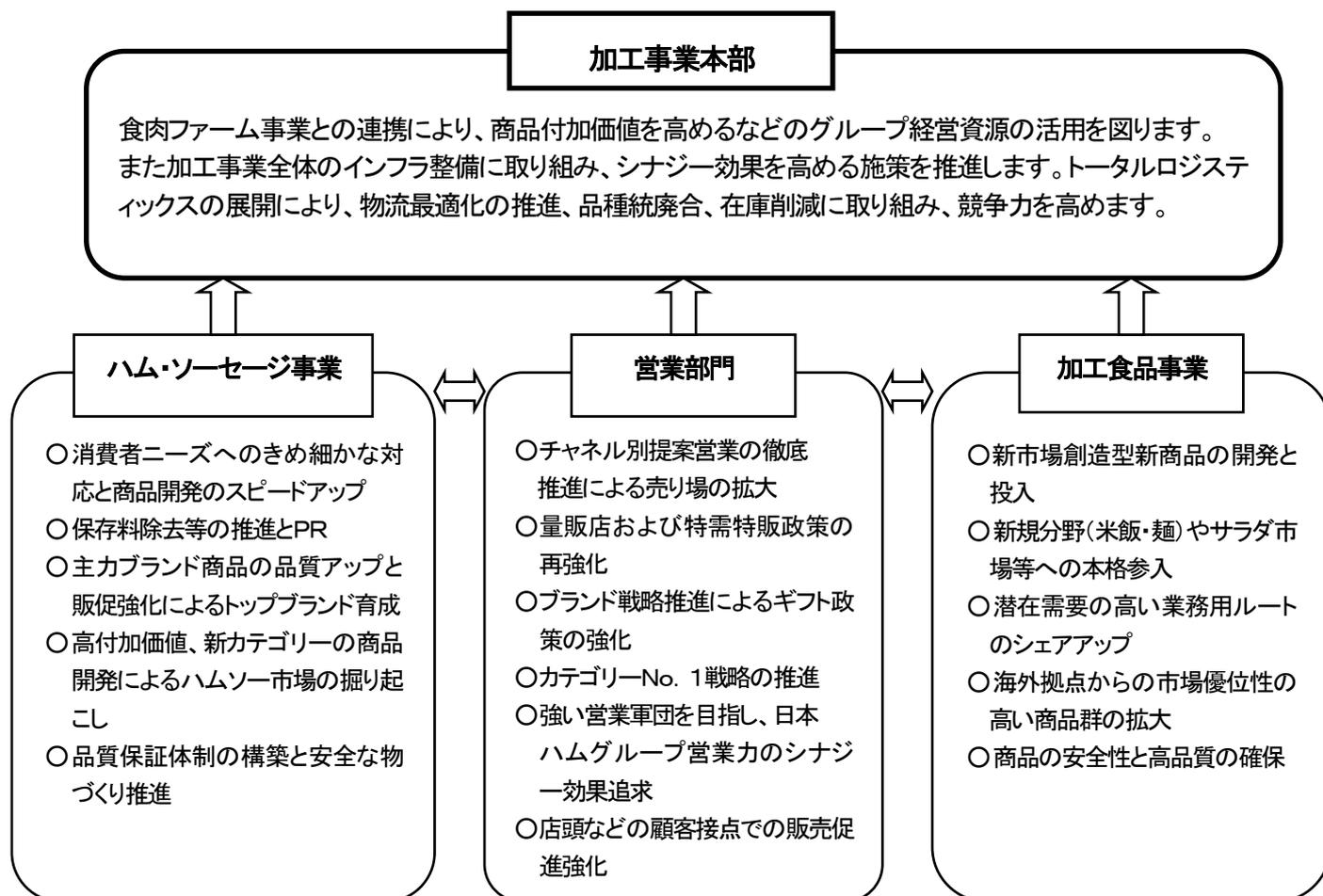
### 3. 積極的な事業拡大

- 従来の事業区分を「加工事業」・「食肉事業」・「関連事業」に分け、戦略的な多角的企業グループへの志向
- 北米・南米・豪州・中国・アジアを主要拠点とする世界戦略の構築とグループ経営資源の有効活用

## IV 事業別基本施策

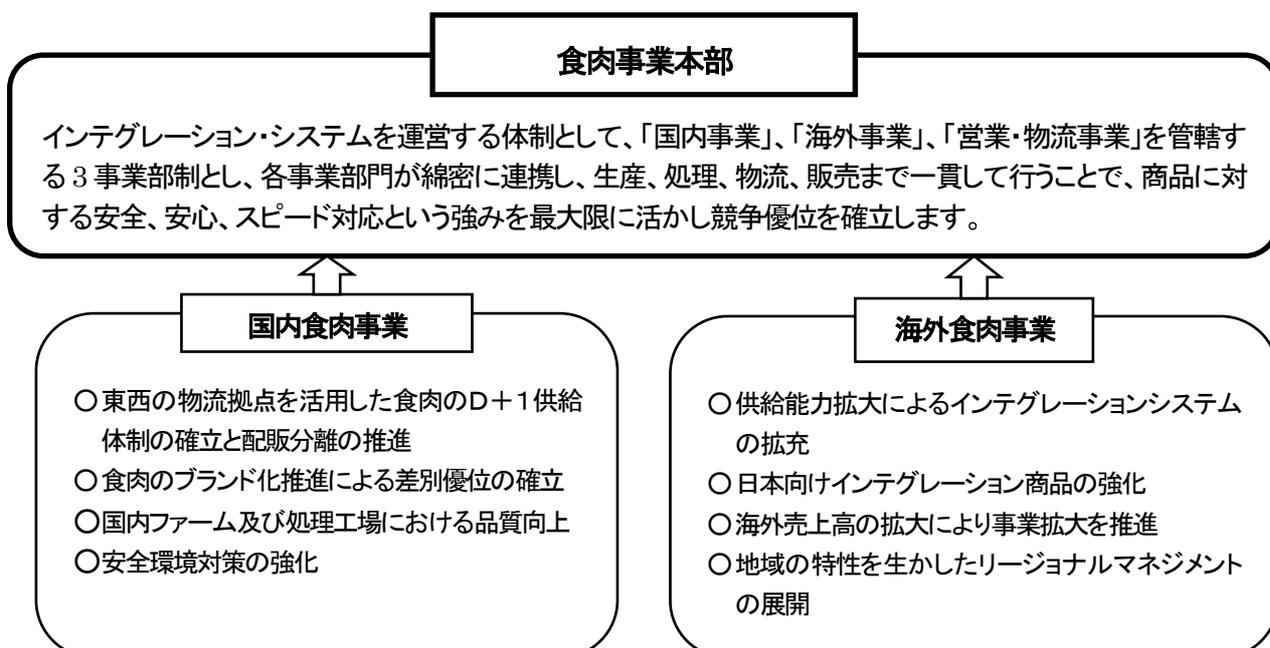
### 1. 加工事業

営業、ハム・ソーセージ、加工食品、惣菜の4部門を「加工事業本部」に一本化したメリットを追求します。

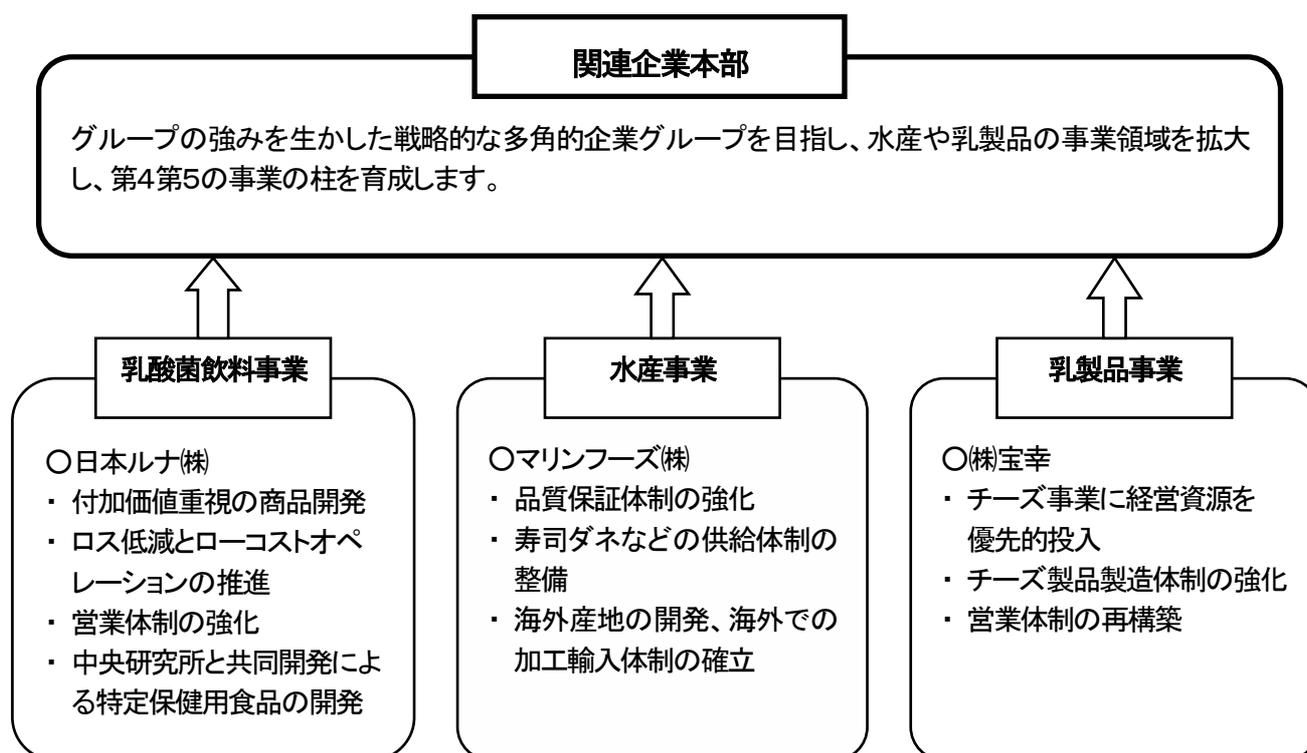


### 2. 食肉事業

当社独自のインテグレーション・システムを最大限に活かした事業展開をはかります。



### 3. 関連事業



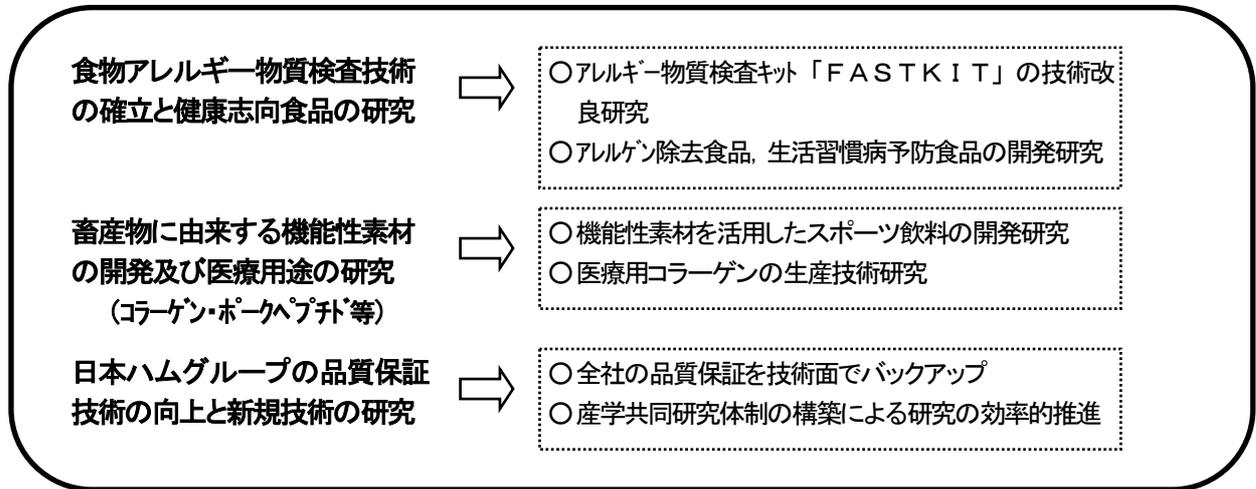
○さらに、中央研究所と連携し、エキス事業・フリーズドライ事業の育成も図ります。

### V 海外事業戦略

- 1) 世界市場に対する全社戦略を構築し、海外事業の強化とグループ経営資源の有効活用によって、市場優位性を高めます。
- 2) 原料肉供給ルートの分散化によるカントリーリスクの低減とグローバルな規模でのインテグレーションシステムを確立します。
- 3) 「海外戦略協議会」を設置し、今後成長が期待できる国、地域、事業に関する戦略を構築します。
- 4) グローバルな視点で品質保証に対する長期戦略を確立し、安全・安心を確保する品質保証体制をさらに強化します。

## VI 研究・開発(日本ハム中央研究所)

「食と健康」「食とスポーツ」を基本テーマに、基礎研究と技術革新を通して21世紀の日本ハムグループにおける新規事業領域の構築を目指します。



## VII 信頼回復と企業イメージの向上

安全で高品質な商品・サービスを提供し、お客様の求める情報を積極的にオープンにし、開かれた食品づくりの実現を目指します。

○お客様と直接触れ合う「オープンファクトリー(工場見学)」の実施や、ホームページでの商品情報等の開示を進めます。

○商品の信頼性を、より一層向上させるために、履歴管理システムの強化を図っていきます。  
具体的には牛肉のトレーサビリティシステム(NICOT)など、ITを活用した体制を強化します。

○品質と安全規格であるHACCP、ISOなどの外部認証規格の取得を進めます。

ハム・ソーセージ事業部管轄工場 HACCP、ISO14001の認証取得
--

加工食品事業部管轄工場 HACCP、ISO14001の認証取得
------------------------------------

惣菜事業部管轄工場 ISO9001の認証取得
---------------------------

食肉事業本部管轄工場 SQF2000の認証取得
----------------------------

以上